

会員募集(団体会員・個人会員) ※無料

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)では会員を募集しています。JRRNへの登録は、団体・個人を問わず無料です。市民団体、NPO、行政機関、民間企業、研究機関、個人等、所属団体や機関を問わず積極的に河川環境の改善に携わるすべての方々のご参加を歓迎します。

年会費: 無料

会員の特典: ※団体・個人会員特典の詳細はJRRNホームページをご覧ください。(http://www.a-rr.net/jp/info/member.html)

- (1) ニュースメール(週2回)による国内外の河川再生情報が配信されます。
- (2) 会員限定行事への参加ができます。また、国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川整備事例の情報収集や専門家紹介等の支援を受けられます。
- (4) JRRNを通じて、河川再生に関するイベント案内、技術、活動等を国内外に発信可能です。

会員登録方法:

JRRNホームページ(<http://www.a-rr.net/jp/>)より**団体・個人会員の登録が可能です。**
会員登録に際して不明な点はJRRN事務局(info@a-rr.net)へ御連絡下さい。

※個人会員のお申込は、下記用紙にご記入の上、JRRN事務局まで郵送もしくはFAXでも受け付けております。



日本河川・流域再生ネットワーク 個人会員登録申込書

JRRNに入会申込みいたします。

FAX: 03-3523-0640

(1) 氏名 (ふりがな)

(2) 所属(組織名、部署名等)

(3) 連絡先: □自宅 □所属先 ((4)~(6)で登録する連絡先の区分を自宅もしくは所属先のいずれから選択してください)

(4) 住所 〒

(5) 電話

(6) FAX

(7) メールアドレス(ニュースメール送付先)

(8) 関心のある分野や専門等

※個人情報取り扱いに関して:
参加登録の際にご記載頂いた情報は、ARRN・JRRNが行う各種行事をご案内する際に使用させて頂く場合がございますが、それ以外の用途では使用致しません。

お気軽にお問い合わせください

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

財団法人リバーフロント整備センター(RFC) 企画グループ 内

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 ロフター中央ビル7階

Tel: 03-6228-3860 Fax: 03-3523-0640

E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

日本河川・流域再生 ネットワーク

Japan River Restoration Network



<http://www.a-rr.net/jp/>



日本における「アジア河川・流域再生ネットワーク(Asian River Restoration Network; ARR.N)」の活動は、「日本河川・流域再生ネットワーク(Japan River Restoration Network; JRRN)」が担います。

URL: <http://www.a-rr.net/>

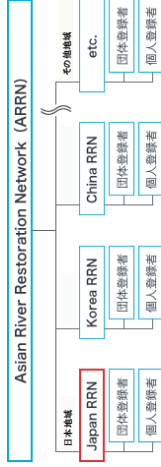
JRRNとは？

設立の目的・背景

河川はもとより、治水や利水の対象のみではなく、農業や漁業、また物質の輸送等、人々の生活基盤を支える資源の一つとして利用され、人々は川や水辺を中心に社会生活や生産活動を営んできました。しかし、流域の経済発展と引き替えて河川の汚濁の進行、また河川環境や文化の損失を招き、新たな社会問題を生み出しました。

こうした中、世界各地で河川・水辺の魅力を取り戻すための様々な再生活動が実施され、これらは水辺のアメニティ整備、旧河道の復元、自然環境の再生等、多岐に渡っています。これらの効率的かつ効果的な実施に向けては、類似事例、経験や教訓、技術、関連出版物等、様々な情報を多くの人々と交換できるような、開かれた組織が求められています。

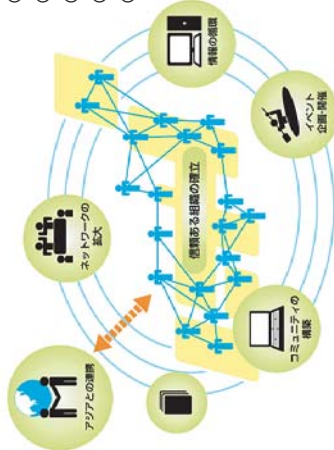
このため、2006年11月に「アジア河川・流域再生ネットワーク（Asian River Restoration Network:ARRN）」が設立されました。「日本河川・流域再生ネットワーク（Japan River Restoration Network:JRRN）」は、このARRNの日本地域の窓口として、国内外の河川・流域再生情報の交換と人材交流を目的とした活動を担います。



活動目標

6つのビジョン

- ネットワークの拡大
- 情報の循環
- コミュニティの構築
- イベント企画・開催
- アジアの国々との連携
- 信頼ある組織の確立



設立の経緯

2003年3月の第3回世界フォーラム分科会において、アジアの水辺再生に関する情報ネットワークの必要性が提唱されました。更に2006年3月の第4回世界フォーラム（メキシコ）では、日本・中国・韓国による合同分科会場で、アジア地域における河川・流域再生の情報交換ネットワークの構築、及びアジア地域の特性に対応した河川・流域再生ガイドラインの作成の必要性が提言されました。

これを受けて2006年11月に「アジア河川・流域再生ネットワーク（Asian River Restoration Network:ARRN）」が日中韓をメンバーとして設立され、同時に、その国内組織として「日本河川・流域再生ネットワーク（Japan River Restoration Network:JRRN）」が誕生しました。

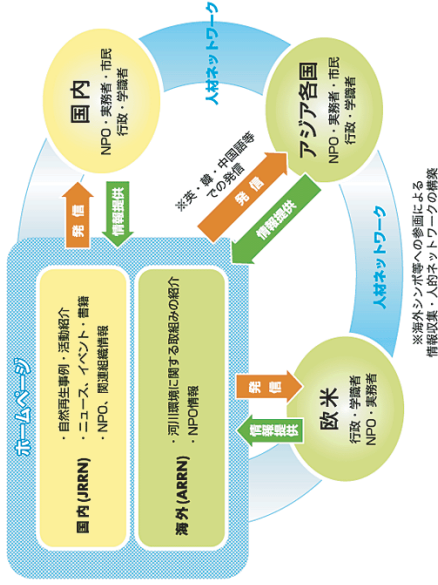


ARRN設立式典の署名式（2006.11.東京）

JRRNの活動内容

活動概要

JRRNは、河川・流域の再生をテーマとした国際フォーラムやワークショップの開催、現地視察の支援等を行います。また、関連情報をWebサイトやニュースレター等を介して社会に発信し、様々な立場で河川環境改善に取り組む方々の情報共有を推進します。



主な活動

webサイトを通じた情報発信・交流

国内外の河川・流域再生に関するポータルサイトとして、全国の河川再生事例の紹介、水辺の写真、市民団体などの水辺での活動内容、河川再生に関する書籍、川の博物館、人と組織の情報などを紹介しています。皆様から提供頂いた情報も紹介しながら、webサイトを通じて河川再生に関する情報共有と人材交流を目指します。



ニュースメール・ニュースレター配信

全国の河川再生、水環境改善に関するニュースを、メールマガジンとして週2回の頻度で配信しています。また、JRRNの活動内容や水辺再生に関する最新トピックなどを中心に、ニュースレターを毎月発行しています。



国内外でのイベント開催



情報・技術交換や人材交流を目的に、河川環境分野の国内外講師を招いた国際フォーラム（年一回）やワークショップ、「JRRN河川環境ミニ講座」等を開催しています。

河川再生ガイドライン構築

国内外の河川環境再生に関わる技術指針類の収集・分析を行い、アジア・モンゴース地域における河川再生の考え方や技術を整理したガイドラインの構築を目指します。

